

**2019(令和元)年度事業計画書**  
**(2019年5月1日～2020年4月30日)**

安倍長期政権の綻びが目立つ一方、野党の力量不足は否めませんが、何らかの形で野党が再結集し、次の総選挙で政権交代を実現するためにも、目前の参議院選は、その第一歩として極めて重要です。

こうしたなかで、これからの日本が目指すべき社会の実現に向けた生活研の役割は重要性を増しており、引き続き、生活と労働を軸に、さらに発信力を高め、新たな創造性と構想力を含んだ政策提言を行っていきます。

## I 研究活動について

### 1 「第3季比較労働運動研究会」(継続)

年々労働者の組織率が低下し、連合運動のあり方が問われる中で、若手研究者を中心に、日本への含意を明らかにすることを目的として、国際的な労使関係や労働組合の組織化などの実践的な課題について、中北欧を中心に研究を進めてきました。これまでの研究成果をまとめ、遅くとも今秋に出版するため、執筆会議など作業を進めます。

### 2 「未来への対話」プロジェクト(継続)

共有すべき理念や政策などについて、立場を超えて国会議員と研究者が率直に意見交換や交流ができるプラットフォームとして、分断されている中道・リベラル勢力の、当面の緩やかな連携と将来の再結集、自公に対抗して政権を担いうる政治勢力の再構築に間接的に寄与するためプロジェクトを継続しますが、参院選後の政治状況をふまえ、内容について再検討します。

### 3 「社会的分断の再統合に向けた政治と政策の連携」(略称：社会的包摂)研究会(継続)

社会的分断の広がりに対して、政策に基づいた政治の連合が求められると同時に、政治的な実現可能性が高い政策提起も重要になっています。この研究会は、これまでの生活研の関連研究会の成果もふまえつつ、日本学術会議の包摂型社会政策分科会とゆるやかに連携しながら、社会的統合に向けた政治と政策、両者の連携を考えます。

### 4 新研究会の検討

「第3季比較労働運動研究会」が今年度前半で終了することから、当面する参議院議員選挙後に、新たな研究会を立ち上げます。

## II 出版事業等について

### 1 月刊誌『生活経済政策』の発行

編集委員会体制をさらに強化し、政策分析、海外情報の提供をはじめ、誌面の一層の充実を図るとともに、購読者の拡大に努めます。

また、月刊誌のデータベース化、掲載論文のホームページ上への公開により、研究成果の発信力を強化します。

### 2 メールマガジンの発行

メールマガジンの発行を継続し、研究所の活動状況、種々の研究会開催のお知らせなどの情報を今後もリアルタイムで提供していきます。

### 3 『生活研ボックス』の発行

生活研の研究活動の成果を『生活研ボックス』として発行します。

## III シンポジウム・学習会活動について

### 1 生活研フォーラムの開催

理事会・評議員会の開催時を基本に、理事・評議員、会員、読者（メルマガを含む）などを対象とした相互交流と学習の場として、引き続き開催します。また、その成果を月刊誌やHPの活用などにより発信します。

### 2 シンポジウムの開催

生活研の研究活動の成果を広く発信するため、関係機関等との連携をはかりながら、積極的にシンポジウムを開催します。

## IV 研究交流について

### 1 労働関係シンクタンクフォーラム

「労働関係シンクタンクフォーラム」への参加等を通じて国内労働組合関係シンクタンクとの研究交流をすすめます。

### 2 社会的企業研究会

(1) 「社会的企業研究会」の共同事務局として研究会に積極的に参加し、社会的企業や非営利・協同セクターとのネットワークの強化をはかります。

(2) 多くの社会的企業や大学と連携して、一般社団法人くらしサポート・ウィズが実施するインターンシップ@協同組合事業を協賛団体として積極的に支援します。

### 3 関係研究機関との交流

ドイツのフリードリヒ・エーベルト財団東京事務所を中心に、海外のシンクタンクとの研究交流を、引き続き行います。

## **V 会員および財務等について**

### **1 会員拡大について**

一般法人への移行により、一般会員は、議決権を持つ法律上の社員であることから、一般会員ではなく賛助会員＝購読者の拡大に努めます。

また、国会議員が対象となる特別会員や新たな団体会員の拡大をはかります。

### **2 運営・事務局体制の確立と財務について**

収支均衡を基本に事業の効率的な運営に努め、出版物の販売強化、委託研究の確保などに取り組みます。

また、常設機関である「あり方検討委員会」で、今後の運営・事務局体制の確立のための具体的な方策や財政基盤の安定・強化策について引き続き検討します。